

新座市版スーパー・シティプロジェクト

概要 官民連携による複合施設の整備等により都市拠点の強化を図るとともに、拠点間を結ぶネットワークを構築・強化することで、災害に強く、にぎわいや魅力あふれる豊かなまちを目指す。

課題

- ・少子高齢化の進展、公共施設の老朽化・維持管理費の増大
- ・公共交通機能の強化、交通結節点と拠点間を結ぶ都市交通の確保
- ・地震等の大規模災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	都市拠点の強化と拠点間のネットワーク化	中～長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・志木駅南口周辺での官民連携による新たな複合施設整備(三軒屋公園等複合施設) ・三軒屋公園等複合施設におけるコミュニティ施設と公園の連携及び民間活力活用による更なるにぎわいの創出 ・新座駅周辺における土地区画整理事業による良好な都市基盤の整備、都市機能の強化 ・拠点間を結ぶシンボルロードの整備 ・公共施設の再配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による施設整備・運営
スマート	スマート技術及びビッグデータの活用による質の高いサービス提供や交通・移動・交流環境の向上	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート技術活用による利用者への質の高いサービス提供や公共施設の効率性・利便性の向上 ・シェアサイクル利用状況データ等を活用したシンボルロードへの自転車通行空間の整備や交通・移動・交流環境の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的なデジタル技術を活用した施設管理 ・電動シェアサイクル(利用状況データの提供)
レジリエント	災害に対するレジリエンスの強化	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への太陽光発電・蓄電池の設置及びEVバスからの電源供給による災害時の電源確保 ・LED無停電照明灯の設置 ・災害のリアルタイム情報の取得・発信 ・駅周辺やシンボルロードの無電柱化の推進 ・シンボルロード整備や幹線道路ネットワークの強化による拠点間をつないだ災害に強いまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電・蓄電池 ・再生可能エネルギー ・EVバスによる電源供給 ・LED無停電照明灯

新座市版スーパー・シティプロジェクト


【コンパクト】 都市拠点の強化と 拠点間のネットワーク化

- ・志木駅南口周辺での官民連携による三軒屋公園等複合施設整備
- ・新座駅北口土地区画整理事業の推進
- ・拠点間を結ぶシンボルロードの整備
- ・公共施設の再配置




三軒屋公園等複合施設 イメージ図

【凡例】

 市街地ゾーン

 拠点

 シンボルロード(東久留米・志木線等)



【スマート】

スマート技術及びビッグデータの活用による
質の高いサービス提供や交通・移動・交流環境の向上

- ・スマート技術活用による利用者への質の高いサービス提供や公共施設の効率性・利便性の向上
- ・シェアサイクル利用状況データ等を活用したシンボルロードの自転車通行空間の整備や交通・移動・交流環境の向上



自転車通行空間の整備例

【レジリエント】

災害に対するレジリエンスの強化

- ・公共施設への太陽光発電・蓄電池の設置
- ・EVバスからの電源供給
- ・LED無停電照明灯の設置
- ・災害のリアルタイム情報の取得・発信
- ・駅周辺やシンボルロードの無電柱化推進

無電柱化の例



EVバスの例
(にいバス)